

今週は明日21日の日銀ワークショップ等が注目点

主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	5月17日	5月16日	前日差
日本	日経平均株価(円)	38,787.38	38,920.26	-132.88
	- CME日経平均先物(円)	38,745.00	38,560.00	185.00
	TOPIX(東証株価指数)	2,745.62	2,737.54	8.08
	参考) 東証REIT指数	1,800.45	1,806.51	-6.06
米国	NYダウ(米ドル)	40,003.59	39,869.38	134.22
	S&P500	5,303.27	5,297.10	6.17
	- S&P500配当貴族指数	4,527.13	4,514.93	12.20
	ナスダック総合指数	16,685.97	16,698.32	-12.35
ドイツ	DAX®指数	18,704.42	18,738.81	-34.39
英国	FTSE100指数	8,420.26	8,438.65	-18.39
豪州	S&P/ASX200指数	7,814.40	7,881.30	-66.90
中国	上海総合指数	3,154.03	3,122.40	31.63
香港	ハンセン指数	19,553.61	19,376.53	177.08
インド	S&P BSE SENSEX指数	73,917.03	73,663.72	253.31
ブラジル	ボベスパ指数	128,150.71	128,283.62	-132.91
先進国	MSCI WORLD	3,472.52	3,468.71	3.81
新興国	MSCI EM	1,099.79	1,098.56	1.22
商品	(単位:米ドル)	5月17日	5月16日	前日差
原油	WTI先物(期近物)	80.06	79.23	0.83
金	COMEX先物(期近物)	2,417.40	2,385.50	31.90
10年国債利回り	(単位:%)	5月17日	5月16日	前日差
日本		0.950	0.921	0.029
米国		4.422	4.377	0.045
ドイツ		2.515	2.445	0.070
オーストラリア		4.210	4.196	0.014
為替(対円)	(単位:円)	5月17日	5月16日	前日比%
米ドル		155.65	155.38	0.17
ユーロ		169.22	168.84	0.23
英ポンド		197.66	196.80	0.44
カナダドル		114.34	114.09	0.22
オーストラリア(豪)ドル		104.16	103.75	0.40
NZ(ニュージーランド)ドル		95.43	95.07	0.38
シンガポールドル		115.65	115.41	0.21
中国人民幣		21.543	21.519	0.11
インドルピー		1.8678	1.8612	0.35
インドネシアルピア(100ルピア)		0.9753	0.9753	0.00
メキシコペソ		9.348	9.307	0.45
ブラジルリアル		30.486	30.287	0.66
トルコリラ		4.833	4.813	0.42

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。
MSCI WORLD、MSCI EMは米ドルベース。
WTI (West Texas Intermediate) 原油先物: ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で取引される米国の代表的な原油先物。
COMEX金先物: CMEグループを構成するニューヨーク商品取引所で取引される代表的な金先物。
表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。
前日差は原数値の比較であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。
本資料は、作成時点でRefinitivにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「#N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、Refinitivにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。

出所) MSCI、LSEGより当社経済調査室作成

主要国株式の動き



注) 直近値は2024年5月17日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

◆マーケットの動き:

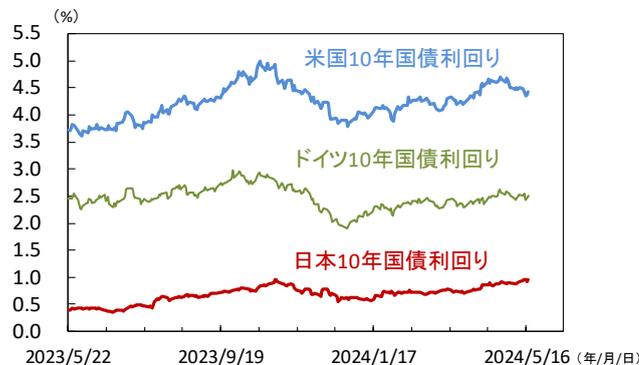
- 日経平均は4日ぶりに小幅反落。前日の米株安の流れを受けて寄り付きより売りが先行。精密機器や情報通信株等が軟調。金利上昇を受けて銀行や保険株は堅調。
- NYダウは反発し終値は初の4万ドル台。S&P500主要11業種中、エネルギー(+1.4%)や素材(+0.9%)、金融(+0.6%)など8業種が上昇。情報通信は▲0.5%と軟調。
- 中国の主要景気指標(4月)は小売売上高(名目)が前年比+2.3%(同+3.1%)、都市部固定資産投資(名目、年初来)が同+4.2%(同+4.5%)と内需が減速。一方、輸出の底打ち等を受けて鉱工業生産は同+6.7%(同+4.5%)へ加速。
- 米10年国債利回りは上昇。ボウマン米FRB理事は米インフレが当面高止まりすると予想。現状の政策金利を維持すればいずれはインフレ圧力が後退とも発言。
- WTI原油先物は3日続伸。米ドルは対円で小幅高、対ユーロでほぼ横ばい。シュナーベルECB理事は、6月と7月の連続利下げには慎重を期すべきだと発言。

◆今週の注目点:

米当局者発言や日銀ワークショップに注目

今週は米国が22日にFOMC議事録(4月30日-5月1日分)を公表予定。21日と24日のウォラーFRB理事の講演など当局者発言も多数。先週公表の米消費者物価(4月)の軟化等を受けて当局者発言のトーンが変わるかに注目。23日には5月のPMI(S&Pグローバル)も公表。日本では、日銀が21日に「金融政策の多角的レビュー」に関するワークショップを開催。物価情勢に関する議論に注目。24日の全国消費者物価(4月)も要注視。(入村)

主要国金利の動き



注) 直近値は2024年5月17日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

主要通貨の動き



注) 直近値は2024年5月17日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
 TOPIX (東証株価指数)、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
 ドイツ「DAX®」: 本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。
 FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとし、FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。
 MSCI WORLD、MSCI EMに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会